

佐賀県高等学校 PTA 新聞

発行 佐賀県高等学校PTA連合会
佐賀市南佐賀3-11-15
(佐賀県立佐賀高等学校内)
電 話 0952(29)2573
F A X 0952(26)5435
印刷 大同印刷株式会社

「つながり さがそう 佐賀大会」の開催

会長 西岡 豊



夫をする必要があることから、考える力がついてきているのではないかとということも言われています。そうはいっても、今年こそはコロナが収束し、普段通りの P T A 活動ができるよう願っているところです。

明けましておめでとうござい
ます。希望に満ちた新年をお迎
えのこととお慶び申し上げます。
昨年もなかなか出口が見えな
い新型コロナウイルス感染症に
悩まされた一年でした。しかし
ながら、九高 P 連大会長崎大会
は何とかハイブリッド方式での
開催ができたこと、全国高 P
連大会石川大会も 5 千人規模で
はありましたが、通常に近い形
で開催することができたことは
明るい材料となりました。

さて、私は昨年から全国高 P
連の進路対策委員長を務めてい
ますが、2 年毎に「高校生と保
護者の進路に関する意識調査」
を行っています。それによると、
コロナ禍前と比較して一番大き
な変化は、子どもが進路の相談
をする相手として、父親と回答
した割合が高くなったという結
果です。これはコロナ禍で父親
が家にいることや、家族との時
間が増えたことが影響している
のではないかとということであ
りました。また、コロナ禍の中
で、何を行うにしても様々な工

三神地区

当番校 東明館高校

令和 4 年度三神地区高等学校
P T A 指導者研修会が、11 月 25
日（金）鳥栖市の「花やしき
創作和食 別館もみじ庵」にて
開催されました。参加者は三神
地区の 7 校の保護者・関係職員
35 名でした。

【開会行事】

三神地区連絡協議会会長の北
島会長より挨拶があり、その後
来賓の佐賀県高等学校 P T A 連
合会会長の西岡様よりご挨拶を
いただきました。

講演の前に佐賀県産業労働部

佐城地区

当番校 佐賀学園高校

10 月 28 日（金）、令和 4 年度
佐城地区高等学校 P T A 研修会
が「グランデはぐくれ」にて 3
年ぶりに開催されました。

来賓には学校教育課より溝口



産業人材課参事の原美和様より
「産業人材の育成と確保の取り
組みについて」として、県内の
人口減の状況を踏まえ、現在の
県の取り組みについて説明をし
ていただきました。

【講演】

講師として東明館中学校・高
等学校神野元基校長より、「人
工知能時代に生き抜く力とは」

係長、佐賀県高 P 連より、西岡
豊会長、久保事務局長をお迎え
し、佐城地区各学校の保護者・
関係職員約 80 名が出席されま
した。

開会行事では、佐城地区事務
局の佐賀学園高等学校振興会の
村瀬会長の挨拶のあと、来賓の
西岡会長よりご挨拶をいただき
ました。

その後、佐賀県産業労働部産
業人材課の原美和氏より「県内
企業の魅力について」、佐賀市
市民生活部で社会人権・同和教
育指導員をされている松岡浩代
氏より「誰もが自分らしく生き
られる社会へ」多様な性について
「さだらう」と題し、ご講演い
ただきました。

原美和氏の講演では、佐賀県
が行っている若い人材を確保す

という演題で講演をしていただ
きました。Society 1.0 から 5.0 ま
での流れと、学校 Ver.1.0 から 3.0
の流れが連動していること、ま
た、「個別最適な学び」と「協
働的な学び」をキーワードにな
ぜ ICT を活用した学校教育が
進んできたのか、などを詳細に
説明され、参加された方は今後
の学校教育のイメージを共有さ
れました。



【報告】

全国高 P 連石川大会、九高 P
連長崎大会について東明館高等
学校 P T A よりそれぞれ報告が
行われました。

るための施策についてご紹介い
ただきました。子どもたちが高
校・大学在学中、または卒業後に
受けることのできる様々な支援
について知ることができました。

また、松岡浩代氏の講演では近
年、社会的に関心が高まっている
性の多様性についての講演を
していただきました。L G B
T Q + の定義や、多様性を認め
合う社会に向けて、私たちにで
きることや身につけるべき視点
についてご教授いただきました。

どちらの講演も私たちにとっ
て身近に感じる
ことのできる内
容でしたので大
変勉強になり、
有意義な時間を
過ごすことがで
きました。



ききました。



- 県内企業のお仕事情報や就職イベント情報、県内企業で活躍するセンパイの声など就職選びに役立つ情報が満載
- 高校生・学生・転職者向けの情報を集約し、就職希望者にとっても企業にとっても利便性の高い情報サイトへ進化

URL : <https://saga-job.jp>



【お問い合わせ】 佐賀県産業労働部産業人材課 TEL 0952-(25)7310

お知らせ

来年度の佐高 P 連「会費」及
び全国高 P 連賠償責任補償制度
の「掛金」は今年度と同じです。

○佐高 P 連事務担当者会議

4 月 25 日（火）14 時

「グランデはぐくれ」

○佐高 P 連通常総会

6 月 2 日（金）14 時

「グランデはぐくれ」

○九高 P 連大会「佐賀大会」

6 月 29 日（木）会議関係

「ホテルニューオータニ佐賀」

30 日（金）分科会・全体会等

「佐賀市文化会館」

「SAGA プラザ」

○全国高 P 連大会「宮城大会」

8 月 23 日（水）〜 25 日（金）

「カメイアリーナ仙台」ほか

春 秋

読書のすすめ

コロナ禍の影響か、読書に費
やす時間が増えた人も多いので
はないかと感じています。

前任校の校長の時から「校長
通信」校長室の窓から」を毎週
発行し、生徒・保護者の皆様へ
の情報発信を続けてきました。

その中で、自身が読み終えた本
を毎週一冊紹介し、読書意欲の
喚起を図ってきました。図書館
にも司書さんのご協力で校長推
薦図書のコナーを設けてもら
い、そのコーナーの本が貸し出
し中になっていることを嬉しく
眺めています。昼休みに実施し
ている「三年生のグループ面談」

の際に、校長通信で紹介した本
を読んで刺激を受けている三年
生が多いことも嬉しい限りです。

また、本校 H P 掲載の校長通信
を見た保護者の方や他校の先生
から、本探しの参考にしていま
すとの声も頂きました。

皆様はこのコロナ禍をどうお
過ごしでしょうか。もしかした
ら同じ居間にいる家族がそれぞ
れスマホをいじっている光景が
常であるご家庭も多いかもしれ
ません。以前審査した「読書体
験記コンクール」の最優秀作品
は、同じ本を家族全員で読み、
作品について語り合うという経
験を記した作品でした。その子
の家族の温かい雰囲気伝わっ
てくる名文でした。親が読書好
きの家庭に育った子供は読書好
きになると言われています。

新しく始まった「大学入学共
通テスト」は、どの教科も文章
読解力がないと対応できないレ
ベルの問題となっています。

子供たちと同様、スマホ時代
だからこそ、時にはスマホの拘
束を逃れて、しばし読書に耽っ
ては如何でしょうか。まずは、
川島隆太氏の『スマホが学力を
破壊する』を是非一読を。

武雄高校 校長 北村 敬

高校生の若い力で地域に恩返し

佐賀県立唐津西高等学校

唐津西高校は、「地域社会の未来を担う志のある人材」の育成を目指し、「総合的な探究の時間」を中核とした学校づくりに取り組んでいます。中でもボランティア活動に力を入れている学校です。

ボランティア部は、部員60名と校内で最も人数が多い部活動です。活動の多くは、地域の方々と交流しながら行っています。



ボランティア部は、部員60名と校内で最も人数が多い部活動です。活動の多くは、地域の方々と交流しながら行っています。

別や、シール張り、「子ども食堂」の手伝い、「制服バンク」等を行っています。また、中学生へのボランティア紹介、「からつ応援市場」、高齢者のお手伝いをする「孫の手クラブ」、社会福祉協議会の「ふれあい福祉まつり」など地域の方との交流を幅広く行っています。



このような体験を学びに整え、今後も、地域の方とのつながりを大切にしながら、地域に根ざした学校を目指し、活動を続けていきたいと思っています。作業的・奉仕的活動から生徒自身の発案・企画による起業家的ボランティアに進化しています。

シリーズ No35

頑張ってるね!!
輝いてるね!!

太良高校は令和4年度から「SAGAコラボレーション・スクール」事業の重点校となり、県が推進する「地域コミュニティの資源（ひと・もの）」を教育課程及び学校行事に取り込むことで、生徒の多様な学びをさらに拡充し、魅力ある学校づくりへと繋げていく取組み」を始まりました。

その一環として、今年7月に太良町にオープンしたオレンジカフェ（認知症カフェ）に参加しました。太良高生はカフェを運営する認知症サポーターの「チームオレンジたち」のメンバーと協力して、会場準備や接客などを体験しました。



オープン初日、初対面の方々に前に最初はうつむき加減だった生徒も、次第に場の雰囲気にも慣れ、地元の方との会話を楽しみ、最後には笑顔で接客することができるようになりました。今回のオレンジカフェの運営に参加する上で、太良高校では

ワクワク・ドキドキを!

佐賀県立太良高等学校



参加希望者を対象に事前に「認知症サポーター養成講座」を開催しました。今後も地域の方々と交流することで、多様な学びの場を拡充に繋げ、生徒たちがワクワク・ドキドキできるような体験を重ねていければと考えています。

鹿藤地区

当番校 太良高校

令和4年度鹿藤地区高等学校PTA指導者研修会を、10月8日（土）、鹿島市の「清川」にて開催いたしました。3年ぶりの開催であり、鹿藤地区加盟の各学校から約40名の参加がありました。

【開会行事】

地区会長で太良高校PTA会長の松本繁治氏より挨拶をいただきました。

【各中学校PTA活動報告】

鹿島高校、うれしの特別支援学校、嬉野高校、太良高校の4校から順に発表がありました。夏祭り巡視活動、環境美化ボランティア活動、災害時の確実な引き渡しのための「引き渡し訓練」、地域への奉仕活動、ボランティア養成講座、模擬面接、校内マラソン大会での昼食サービス、朝の登校指導・挨拶運動、文化祭でのカレーライスの提供や合格体験発表会での豚汁会など、保護者・生徒・職員が一体となった各校での特色のある取り組みが報告されました。

唐松地区

当番校 唐津西高校

11月18日（金）、コロナ禍で昨年・一昨年と開催を見送っていた唐松地区PTA指導者研修会を、3年ぶりにホテル＆リゾート佐賀唐津にて開催しました。

佐賀県高等学校PTA連合会会長西岡豊様、事務局長久保隆慶様を来賓に迎え、約60名の唐松地区のPTA等役員及び管理職、担当職員が参加しました。唐松地区PTA本年度当番校の唐津西高等学校校振興会の濱道正和会長挨拶、来賓の佐賀県高

【全高P連石川大会報告】

石川大会については、鹿島高校PTA会長から報告がありました。一日目の第2分科会では、目から鱗的な話でとても参考になったこと、記念講演は講師のバイタリテイの凄さと聴衆の「熱」を感じるものだったとの報告がありました。

【講演】

「子どもたちの心と体が危ない」という演題で、元中学校校長で、現在北陵高校教頭の中野義文氏に講演をしていただきました。まず、「聴く、認める、叱る、伝えることの大切さ」「保護者は今2000日戦争の真っただ中にある」の導入から始まり、気がつけばあつという間に終わったと感じられた内容の濃い75分間でした。昔と今の子どもたちの変化、そのことを物語る出来事的具体的例示、親としてどうすべきか・あるべきかなど、分かりやすく心に残る内容で、参加者の心を鷲掴みした講演だったと感じました。



杵西地区

当番校 有田工業高校

10月14日（金）、有田工業高校にて杵西地区連絡協議会指導者研修会及び常任委員会を開催しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため各単Pからの参加者数に制限を設けたので以前よりも小規模な研修会となりましたが、杵西地区10単Pから22名の方の参加をいただきました。また、時間短縮のため各PTAからの活動報告も行いませんでした。



杵西地区高P連会長挨拶、会場校長挨拶、来賓の佐高P連久保事務局長挨拶に続き、財務省福岡財務支局専門調査員の八崎美姫氏に講演をしていただきました。講演では、成年年齢引



き下げに伴い、高校生でも保護者が関知しないままローンを組むことが可能になったり、高校卒業後の新しい友人関係作りの中でマルチ商法の勧誘にあったりなどのケースを想定した金融トラブルに関して、再現ビデオ等を用いてわかりやすく説明いただきました。融資額に制限がある若者でも大金を工面する方法や、友人関係を利用した勧誘方法など話が具体的で、この問題をより身近に感じることでできました。若年層をターゲットにした詐欺は以前から耳にすることはありましたが、今回の成年年齢引き下げにより、さらなる広がりがあり各方面で懸念される中、参加者の関心も高く質疑応答では活発なやりとりがなされ、学びを深めることができました。

研修後の教育懇談会にも複数校から参加をいただき、情報交換や情報共有をし、有意義な時間となりました。

などの魅力を高校在学中に伝え高校生にとってより良い進路選択や将来のキャリアプランを描くことができるように後押ししていくことなどを講演していただきました。

続いて事例発表として唐津商業高等学校の教育振興会の活動について百束格会長の発表があり、その後、全高P連石川大会の報告を唐津西高等学校校振興会の前田勝久副会長から行いました。

また、研修会の後、懇親会も開催し、会員相互の親睦を深めることができ、有意義な研修会となりました。